



元氣と夢を育む真鍋小学校

学校便り No.3

土浦市立真鍋小学校（小中一貫校）

令和5年6月13日（火）

文責 近藤 恒重

ご声援ありがとうございました

当初5月23日（火）に予定していたスポーツフェスティバルは雨で延期となり、26日（金）に開催しました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症にはなりましたが、まだ感染への不安が残る中での実施であり、今年も昨年と同様に、2学年ずつ、平日1日で行いました。どの学年の児童も徒競走や団体種目に一生懸命取り組み、練習の成果を発揮することができました。中でも5、6年生が合同で行った「真鍋ソーラン」は本当に見事でした。学校中に響き渡る掛け声を伴った迫

力のある「真鍋ソーラン」は、見ている人たちに感動を与えてくれました。6年生が5年生をリードして行われるこの「真鍋ソーラン」は真鍋小のよき伝統として、一緒に踊っていた5年生へ、そして教室の画面越しに見ていたその下の学年の児童へと引き継がれていくことでしょう。

保護者の皆様には、入れ替え制等の制約を設けさせていただき、ご不便をおかけ致しました。お陰様で、滞りなく無事終えることができました。ご協力に改めて感謝申し上げます。



6月3日は創立記念日です

2年生から6年生の児童、保護者の皆様にはご存じの方も多いかと思いますが、6月3日（土）は真鍋小学校の創立記念日でした。今年は土曜日で学校がお休みとはなりませんので、「ああ残念！」と思った子ども達もいたかと思いますが、1年生の児童、保護者の皆様にとっては初めての創立記念日ですので、真鍋小学校の歴史を簡単にお知らせします。

真鍋小学校は、明治10年6月、西真鍋に「真鍋学校」として創立され、創立記念日は6月3日とされました。そこから数えて今年で創立146年になります。明治40年2月、現在の地に校舎が移され、同時期に桜の苗木も植樹されました。それが真鍋小学校のシンボル、校庭の真ん中にある5本の「真鍋の桜」です。樹齢は116年になり、県の天然記念物に指定されています。「真鍋の桜」は、真鍋小学校とともに歴史を刻んできました。卒業生総数1万2千有余名。真鍋小学校はたくさんの卒業生や地域の皆様に支えられ歩んできた、正に歴史と伝統の学校です。ちなみに来年の6月3日は月曜日です。



校長室より

できるだけ朝は東側の門、西側の門に立って、「あいさつ運動」をしています。元気にあいさつしてくれる子、こちらを見ますがそのまま通りすぎる子、こちらを見ずに通りすぎる子、様々な子がいます。そして校内に戻ると今度は朝の会が始まるころの教室へ向かいます。まず1年生の純真で素直なあいさつに出会います。4年生はとっても元気なあいさつです。朝の会の進行具合によって、あいさつができるできないのタイミングがありますが、できるときはどの学年学級も元気にあいさつをしてくれます。門のところでも、教室をまわった時でも、あいさつをしあうととてもいい気持ちになります。人間関係の第一歩はあいさつからと言われており、人と人とを結ぶための大事な意味を持ちます。大きな声でとはいいいませんがすべての子ども達が「気持ちのよいあいさつ」ができるようになることを目標に、毎朝、それぞれの門の所であいさつ運動を続けていきたいと思っています。最後に「あいさつの4か条」なるものがあるようなので紹介します。「あ」：明るく、温かく 「い」：いつでも、誰にでも 「き」：先に、すすんで 「つ」：続けて、次の言葉を だそうです。真鍋小の子ども達がこのようなあいさつができるようになることを目指していきます。



